

## 世界 LNG 動向#98 2024 年 2 月

橋本裕\*

### はじめに

世界のスポットガス価格が下降傾向を続け、欧州スポットガス価格、アジアスポット LNG 価格は 2023 年末の 100 万 Btu 当たり 10 米ドル前後から、2024 年 1 月末に 9 米ドル台、2 月末には 8 米ドル台に下がった。

この傾向は、特にアジア、アフリカ、南米の LNG 市場の LNG カーゴ獲得意欲を促す可能性はある。

豪 Woodside 社、Santos 社は、両社間の合併可能性を話し合っていることを明らかにした 2 週間後の、2024 年 2 月 7 日、合併可能性に関する話し合いを打ち切ったことを発表した。

2 月、両社それぞれの LNG プロジェクト、あるいは GHG 排出削減・クリーン化取り組みの進展を明らかにした。

Woodside 社は、Scarborough プロジェクトについて、Pluto Train 2 モジュール 51 本中、最初の 3 本が西豪州カラサに到着したことを発表した。Scarborough プロジェクトは、初 LNG カーゴを 2026 年目標としている。

同社は、JERA 社の Scarborough プロジェクトへの参画を発表した。また JERA 社、Kogas (韓国ガス公社) との LNG 販売取引も発表した。Woodside 社は過去 10 年間にポートフォリオマーケティングに移行しているとのこと。

Woodside 社は、自社のスコープ 1、2 排出の 2030 年までに 30%削減目標について、最も手近な成果につながる (low-hanging fruit) 対象は Pluto LNG 設備に太陽光発電、低排出電源を織り込むことである、と述べた。

Santos は、Barossa ガス田開発 1 本目の生産井は仕上がり、2 本目が作業中で、同プロジェクトは、Darwin LNG へのバックフィル供給が 2025 年第 3 四半期に期待される、と述べた。

Barossa プロジェクトは Bayu-Undan CCS の潜在 CO<sub>2</sub> 源の 1 つである。同社は、Aiming for Zero Methane Emissions Initiative、World Bank's Zero Routine Flaring by 2030 Initiative への参加を発表した。

カタール QatarEnergy は、2 月末、自国 LNG 生産容量を 2030 年までに年間 1.42 億トンに引き上げる "North Field West" プロジェクト計画を発表した。同社はまた、インド Petronet LNG との長期 LNG 販売取引も発表した。

---

\* 資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット

## [アジア太平洋]

TotalEnergies は、2024 年 2 月 29 日、シンガポール Sembcorp Industries 子会社 Sembcorp Fuels と、2027 年から 16 年間、年間最大 80 万トンの自社グローバルポートフォリオから調達による LNG の SPA (売買契約) を締結したことを発表した。両社間の 2029 年までの既存 SPA に上乗せとなる。

シンガポール Seatrium 社は、2024 年 2 月 14 日、GasLog LNG Services 社・Shell International Trading and Shipping Company (STASCO) 社と、2024 年から 2029 年まで、後者の LNG 輸送船舶を修繕・刷新・改造を行う長期優先顧客契約 (ECC) を更新したことを発表した。

タイ Gulf Energy Development 社は、2024 年 2 月 16 日、同月末までに初 LNG カーゴを輸入する見通し、と述べた。

ベトナム Petrovietnam Gas (PV Gas) 社の 2024 年 1 月の情報によると、2024 年第 2 四半期、Thị Vải LNG 基地より同国南東部工業用需要家向けに LNG 気化ガス供給を開始できる見込み。PV Gas は同基地容量を 2026 年までに年間 300 万トンに拡張する第 2 段階を実施中。PV Gas は南中部地域ビントゥアン省で容量最大年間 600 万トンに達する Sơn Mỹ LNG 基地も開発中。北部・中部地域では、LNG ハブ 2 件の立地点を検討中。

フィリピン First Gen Corporation (FGEN) 社は、2024 年 2 月 19 日、バタングス First Gen Clean Energy Complex のガス火力発電設備で利用すべく、First Gen Singapore 社を通じて、DES (持ち届け ex-ship) 条件で 1 カーゴの応札を招請していることを発表した。First Gen によると、落札者は 3 月 15 - 31 日の間に FSRU BW Batangas 向けにこのカーゴを引き渡すこととなる。First Gen は 3 月 6 日に落札者を決めることを期待している。

海洋機器製造企業 Straatman は、2024 年 2 月 8 日、マレーシア Petronas の ZFLNG プロジェクト向けに、サムスン重工業 (SHI) との協力を発表した。Straatman は、ZFLNG 設備と LNG 輸送船舶間の切れ目ないコミュニケーションを支える船陸間連携システムを供給する。ZFLNG プロジェクトは、マレーシアのサバ州沖に立地し、Petronas の 3 件目の FLNG (浮体 LNG) プロジェクトとなる。

Höegh LNG は、2024 年 2 月 5 日、インドネシア PGN FSRU Lampung 備船者・Höegh LNG が、両者間の紛争・請求・対抗請求に関して和解に達し、即時仲裁手続を即時終了することに合意したことを発表した。PGN FSRU Lampung 備船契約は引き続き有効。

TotalEnergies、インド Oil and Natural Gas Corporation (ONGC) は、2024 年 2 月 6 日、TotalEnergies の AUSEA (Airborne Ultralight Spectrometer for Environmental Applications) 技術を用い、メタン排出検知・測定取り組みを実施する協力協定を締結した。

ロシア首相は、2024 年 2 月 9 日、Yamal LNG 設備より、SEFE Marketing & Trading Singapore 社向けに LNG 供給を、2024 年 12 月期限としていた 2023 年 6 月 10 日付指令を修正し、2040 年 12 月まで承認する指令を発行した。

Equinor 社は、2024 年 2 月 19 日、インドの肥料・石化企業 Deepak Fertilisers 社と、

2026 年引き渡し開始の LNG 供給の 15 年契約を締結したことを発表した。Deepak 社はこのガスを主としてアンモニア製造原料として用いる。本契約は年間 65 万トン程度の供給を対象としている。

インド Petronet LNG は、2024 年 2 月 9 日、スリランカ向けに 2025 年から 5 年間の LNG 供給する、と述べた。Petronet は各 17 トンのコンテナ 50 基により、日量 850 トンを供給することとなる。本件は 2 件のガス火力発電設備に供給することとなる。

豪上流生産企業団体 Australian Energy Producers (AEP) は、2024 年 2 月 5 日、自国政府は、「短期的」構造的ガス不足に対応するため、直ちに新規ガス供給を求め、新規 LNG プロジェクトを承認しなくてはならない、と述べた。AEP は、地域との関係を強化し、アジア LNG 需要の 10 倍にもなる成長から豪州が利するため、豪 LNG 生産者・消費者タスクフォースを提案している。

豪 Venice Energy は、2024 年 2 月 15 日、GasLog が 2023 年「大幅なリストラックチャを経て多数の船舶を他社に売却することを決め」Venice プロジェクトに配分された船舶の買主として「AG&P が浮上し」、Venice は「自社プロジェクトが転換改造済み FSRU をさらに有利なコスト・タイムリーに受け取ることを保証する新たな商業協定を確保した」と述べた。

豪 Santos は、2024 年 2 月 26 日、サウスオーストラリア州での 2.20 億米ドル Moomba CCS (炭素回収・貯留) プロジェクトの自社分資金調達を確保したことを発表した。この融資は期間 5 年間・総額 1.50 億米ドルで、ここまでの発生したプロジェクトコストに充当し、2024 年半ば目標の注入開始までプロジェクトの進展に応じて払い出す。Moomba CCS プロジェクト第 1 段階は 80% 完成し、ライフサイクルでの収支ラインとなる貯蔵コストトン当たり 24 米ドルを目標とする。CO<sub>2</sub> 年間 170 万トンの貯蔵容量を持つこととなる。

豪 Woodside、Santos は、2024 年 2 月 7 日、合併可能性に関する話し合いを打ち切ったことを発表した。

株式会社商船三井 (MOL) は、2024 年 2 月 14 日、Woodside 社、韓国造船・エンジニアリング会社 HD Korea Shipbuilding and Offshore Engineering 社 (HD KSOE)、韓国船会社 Hyundai Glovis 社と覚書を締結、液化水素輸送共同検討に参画したことを発表した。

Woodside 社は、2024 年 2 月 21 日、Scarborough Energy プロジェクトにおける Pluto Train 2 モジュール最初の 3 本が西豪州カラサに到着したことを発表した。Bechtel 社のインドネシア拠点で組み立てられ、総重量は 4,000 メトリクトンを超える。この 3 本は、当該モジュールヤードから持ち込まれる 51 本中 3 本で、Pluto Train 2 を構成することとなる、とのこと。Scarborough プロジェクトは 55% 以上が完成し、初 LNG カーゴは 2026 年目標としている。

JERA、Woodside 社は、2024 年 2 月 23 日、Scarborough 合併事業の 15.1% 持分 (LNG: 最大年間 120 万トン相当) を Woodside から JERA に移管する発効期日 2022 年 1 月 1 日取引を発表した。Woodside・JERA は、前者グローバルポートフォリオより 2026 年から

10 年間、DES (持ち届け ex-ship) 条件で年間 6 カargo (最大 40 万トン) の売買についての非拘束の HOA (基本合意) も締結した。脱炭素目標を支援すべく、アンモニア、水素、カーボンマネジメント、CCS 等新エネルギー協力に関する非拘束の覚書も締結した。

Woodside 社は、2024 年 2 月 27 日、自社のスコープ 1、2 排出の 2030 年までに 30% 削減目標について、最も手近な成果につながる (low-hanging fruit) 対象は Pluto LNG 設備に太陽光発電、低排出電源を織り込むことである、と述べた。

Woodside は、2024 年 2 月 28 日、韓国ガス公社 (KOGAS) と、同国向け LNG 供給、DES (持ち届け) 条件で 2026 年から 10.5 年間、年間 50 万トンの SPA (売買契約) を発表した。この LNG は、2026 年 LNG カargo 出荷開始を目標とする Scarborough プロジェクト含め、Woodside グローバルポートフォリオの未コミット分より手当される。

Santos は、2024 年 2 月 21 日、2023 年次報告にて、Barossa ガス開発 1 本目の生産井は仕上がり、2 本目が作業中で、同プロジェクトは 2023 年末時点で 66.4% 完了し、Darwin LNG へのバックフィル供給が 2025 年第 3 四半期に期待される、と述べた。フル生産に達するところで、自社分の LNG ポートフォリオとしては年間 180 万トンの増加となる、と述べた。Barossa プロジェクトは Bayu-Undan CCS の潜在 CO<sub>2</sub> 源の 1 つで、同 CCS プロジェクトは 2025 年の FID (最終投資決定) を目標としている。

Santos は、2024 年 2 月 21 日、Aiming for Zero Methane Emissions Initiative、World Bank's Zero Routine Flaring by 2030 Initiative に参加したことを発表した。

Santos は、2024 年 2 月 1 日、パプアニューギニア Kumul Petroleum Holdings Limited 社が、3.52 億米ドル (PNG LNG の 1.6% 相当) を Santos に支払ったことを発表した。Kumul は、2.6% 分を所有する Santos 子会社の持ち分を取得している。

## [北米]

米連邦議会上院エネルギー・天然資源委員会にて、2024 年 2 月 8 日、LNG 輸出承認・LNG 輸出申請の連邦エネルギー省 (DOE) による審査手続きの現政権による一時停止措置に関する審議が行われた。

米連邦議会下院は、2024 年 2 月 15 日、DOE から LNG 設備承認権限を取り外し、現政権が導入した承認手続き一時停止を覆すことを採択した。

米 LNG 業界団体 USLNG Association (LNG Allies) は、全米石油機関 (API)、他 5 団体とともに、2024 年 2 月 26 日、今後の LNG 輸出承認を一時停止する 1 月 26 日の決定を再考することを DOE (連邦エネルギー省) に要請した。

米 EPA、DOE (環境保護庁、エネルギー省) は、2024 年 2 月 9 日、石油・ガス部門のメタン排出測定・削減支援の資金を拠出できるようにする通知 (NOI) を発表した。

Cheniere Energy 社は、2024 年 2 月 22 日、CCL Stage 3 プロジェクト第 1 系列からの LNG 生産開始を、2024 年末実現見込み、と述べた。CCL Stage 3 プロジェクトは、CCL プロジェクト隣接で建設中の拡張で、ミッドスケール 7 系列、総生産容量年間 1000 万トン

超を見込む。CCL Stage 3 プロジェクトの 2023 年 12 月 31 日時点の進捗は、エンジニアリング 83.7%、調達 72.2%、外注作業 66.9%、建設 11.1%である。

Cheniere Energy 社は、2024 年 2 月 22 日、DOE による、非自由貿易協定諸国向け LNG 輸出承認判断停止の決定が、自社 Sabine Pass、Corpus Christi 拡張プロジェクト、その FERC (連邦エネルギー規制委員会) 手続きには影響していないが、米 LNG 産業全体として規制・許可手続き上の不確実性を生み出している、と述べた。同社としては、ミッドスケール第 8、9 系列、SPL 拡張プロジェクトの必要な規制承認全て、期待する日程通りに確保すると考えている。Cheniere は、両プロジェクトの FID (最終投資決定) を、それぞれ 2025 年、2026 年を目標としている。

株式会社国際協力銀行 (JBIC)、Sempra Infrastructure Partners, LP は、2024 年 2 月 2 日、エネルギートランジションにおける協力推進等を目的とした MOU (覚書) を締結したことを発表した。

米 Sempra は、2024 年 2 月 27 日の 2023 年業績報告会によると、「両岸 LNG 輸出戦略」を有する。ECA LNG 第 1 段階は北米太平洋岸最初期の LNG プロジェクトのひとつを市場に持ち込むべく、2025 年夏 COD (商業運転開始) に近付いており、2026 年には全面稼働見込み、2027 年 Port Arthur 第 1 系列、2028 年同第 2 系列が続く。Cameron LNG 第 2 段階では、Sempra は、Bechtel とエンジニアリング改善の作業を進める一方、他 EPC 請負会社の評価も行っている。Sempra は、Cameron 第 2 段階 FID (最終投資決定) を最短 2025 年前半に期待している。

FERC は、2024 年 2 月 15 日、Tellurian 社に Driftwood LNG 設備稼働開始期限を、2029 年 4 月までと 3 年間の延長を承認した。FERC は Driftwood LNG が「正当な理由を示した」と述べた。Tellurian は、2023 年 10 月、パンデミック関連の「全く予測不能な状況」を理由に建設期間延長を FERC に申請した。

Tellurian 社は、2024 年 2 月 22 日、上流部門資産売却を完了するため、短期流動性を確保し柔軟性を持つため、一部借入の条件を修正する合意を確保したことを発表した。

Tellurian 社は、2024 年 2 月 23 日、2023 年業績報告にて、Driftwood LNG プロジェクトを、現場での杭 14,000 本以上の打ち込み、重要機器のコンクリート基盤製造進展と、前進したことを明らかにした。同社はパイプライン (Lines 200 / 300) について FERC (連邦エネルギー規制委員会) 承認を確保し、これらのパイプライン向けに Baker Hughes によるゼロ排出 ICL コンプレッサー組み立ても続けている。

Shell NA LNG LLC 社は、2024 年 2 月 16 日、FERC への提出文書にて、bp による VGCP (Venture Global Calcasieu Pass, LLC) を相手取る不服申し立てを引き続き支持、ALJ (行政法判事) による代替審議要請を再度表明した。

Venture Global LNG 社は、2024 年 2 月 15 日付提出文書によると、FERC に、Calcasieu Pass LNG 輸出設備の営業開始条件を、2025 年 2 月 21 日まで延長することを申請した。

Venture Global LNG 社は、Venture Global CP2 LNG, LLC 社・Venture Global CP

Express, LLC 社を通じて、2024 年 2 月 15 日付書簡により、FERC に、3 月 21 日の同委員会公開会合までに、CP2 LNG プロジェクトを承認する指令を発行することを求めた。

Texas LNG 社は、2024 年 2 月 16 日、Suderman & Young Towing 社、Bay-Houston Towing 社、Moran Towing 社の連合 Gulf LNG Tugs of Texas 社を、自社設備に到着する LNG 輸送船舶を支援するため長期契約で曳船を建造・引き渡し・運航する業務に選定したことを発表した。Texas LNG 社はこの複数の曳船が、自社設備規模の設備に供する最新級、低排出の曳船となるものとしている。

Chesapeake Energy 社、Delfin LNG 社、Gunvor Group 社は Gunvor Singapore 社を通じて、2024 年 2 月 13 日、長期液化引き取り SPAs(売買契約) を含む LNG 輸出取引を発表した。Chesapeake 社は、Delfin 社からヘンリーハブ価格、2028 年開始目標で、20 年間、年間 50 万トンの LNG を購入し、Gunvor 社に FOB 条件、販売価格は JKM 連動にて引き渡す。この分の数量は、既に (2023 年 3 月) 発表済みの Gunvor 社との最大年間 200 万トンの HOA の一部となる。

Vitol 社は、2024 年 2 月 22 日、EOG Resources 社との天然ガス SPA(売買契約) を発表した。EOG は、2027 年から 10 年間、天然ガス日量 180,000 (100 万 Btu) (LNG 換算年間 125 万トン相当) を Vitol に供給する。この内日量 140,000 (100 万 Btu) は、購入価格をブレント原油連動、残り数量はブレントまたは米メキシコ湾岸ガス指標連動とする。

カナダ Cedar LNG とそのパートナー Haisla Nation、Pembina Pipeline 社は、2024 年 2 月 23 日、プロジェクト最新状況として、規制承認確保、Coastal GasLink・LNG Canada とのプロジェクト間諸協定の進展、サムスン重工業 (SHI)・Black & Veatch との HOA(基本合意)、一括請負方式 EPC(エンジニアリング・調達・建設) 契約締結などの進展を明らかにした。FID(最終投資決定) は 2024 年半ばに見込まれている。

New Fortress Energy (NFE) 社は、2024 年 2 月 29 日、メキシコ アルタミラ沖自社初の Fast LNG 設備より、3 月 LNG 開始、4 月初カーゴを期待している、と述べた。同社はアルタミラ陸上となる 2 件目の FLNG プロジェクトの資金調達コミットメントを確保し、2026 年第 1 四半期の建設完了を期待しているとのこと。

FERC は、2024 年 2 月 15 日、Mexico Pacific 社のメキシコ ソノラ州 Saguario LNG プロジェクトへの接続幹線となる Saguario Connector Pipeline パイプラインを承認した。Saguario LNG は既に DOE から、メキシコへの天然ガス輸出、そして LNG を米国と自由貿易協定を有していない諸国に輸出する承認を得ている。

## [中東]

GTT 社は、2024 年 2 月 13 日、中国の造船会社より 8 隻の新造 LNG 輸送船舶のタンク設計を受注したことを発表した。各船 5 タンク総容量 271,000 m<sup>3</sup> となる。タンクは GTT 社が開発した NO96 Super+ メンブレン積載方式となる。引き渡しは 2028 年第 2 四半期から 2029 年第 4 四半期を予定している。

GTT は、2024 年 2 月 26 日、同年初に韓国造船業サムスン重工業 (SHI) より、ある主導 LNG 企業を代理して、新規 LNG 輸送船舶 15 隻のタンク設計を受注したことを発表した。これら船舶の容量は 174,000 m<sup>3</sup>となる。タンクは GTT が開発した Mark III Flex メンブレンコンテインメント方式を採用する。これら船舶の引き渡しは、2026 年第 4 四半期から 2028 年第 4 四半期を予定している。

カタール QatarEnergy 社は、2024 年 2 月 10 日、Qatar Gas Transport Company Limited (Nakilat) を在来型サイズの LNG 輸送船舶最大 25 隻の船主・運航企業となるべく選定したことを発表した。これら 25 隻は、各 174,000 m<sup>3</sup>容量で、100%を Nakilat が所有する。これらは韓国の造船会社で建造される予定である。

インド Petronet LNG Limited (PLL)、カタール QatarEnergy は、2024 年 2 月 6 日、年間 750 万トン・長期の LNG SPA (売買契約) を発表した。1999 年締結され 2028 年までの供給の FOB 条件での既存 LNG SPA の延長線となる。新契約では、DES (持ち届け) 条件で 2028 年 5 月から 2048 年までの引き渡しとなる。1999 年契約同様、基本的に Dahej 基地で気化後、GAIL (India) Limited (60%), Indian Oil Corporation Limited (30%), Bharat Petroleum Corporation Limited (10%) が引き取ることとなる。

カタール QatarEnergy は、2024 年 2 月 4 日、三井物産 Mitsui & Co. Energy Trading Singapore Pte. Ltd. との間で、長期コンデンセート供給契約を締結したことを発表した。10 年間の供給契約で、2024 年 4 月から、年間最大 1100 万バレルを供給することを規定している。North Field East (NFE)、North Field South (NFS) 拡張プロジェクトが稼働開始すれば増量するオプションを含んでいる。

カタール QatarEnergy は、2024 年 2 月 23 日、自社新規 LNG 船団拡張プログラムで引き渡しとなる最初の輸送船舶を、ExxonMobil 社元会長兼最高経営責任者、第 69 代米国国務長官の名を冠し "Rex Tillerson" と命名したことを発表した。2024 年 9 月就航予定で、中国の沪东中华造船 (集団) 有限公司造船所 Hudong Zhonghua Shipyard にて建造中、QatarEnergy の LNG 造船計画の最初の発注 12 隻の一部である。

カタール QatarEnergy は、2024 年 2 月 25 日、自国 LNG 生産容量を 2030 年までに年間 1.42 億トンに引き上げる "North Field West" プロジェクト計画を発表した。評価掘削・試験により、North Field ガス田の生産層が西方に延長していることは確認できたとのこと。North Field West プロジェクトの上記の承認された日程に従い実現するため、直ちに基本エンジニアリング作業を開始するとしている。

## 【アフリカ】

アブダビ ADNOC、bp は、2024 年 2 月 14 日、エジプトでの新規合弁事業 (JV) 設立に合意したことを発表した (51% bp ・ 49% ADNOC)。

bp は、2024 年 2 月 15 日、Greater Tortue Ahmeyim (GTA) LNG プロジェクトの FLNG (浮体液化天然ガス) 船舶が、モーリタニア・セネガル海洋境界上の目的地に到着したこと

を発表した。GTA 第 1 段階開発用 FLNG Gimi は bp が操業、パートナーは Kosmos Energy, PETROSEN, SMH である。GTA 第 1 段階は、LNG 年間 230 万トンを生産予定である。Golar LNG が所有・操業する Gimi FLNG は、2023 年 11 月、シンガポールから出航した。

Allseas 社は、2024 年 2 月 24 日、Pioneering Spirit が、モーリタニア・セネガル沖 bp 大水深 GTA LNG プロジェクトのガス田到着後 2 ヶ月、領域内の配管敷設を完了したことを発表した。作業範囲は、16 インチ径払い出し配管 75 km、10 インチ径配管 10 km で構成され、最も深い部分は深さ 2700 m を超える。Pioneering Spirit は残り 6 件のフローラインの終点部分組み立てにより洋上の作業を完了する。

ENI は、2024 年 2 月 16 日、コンゴ沖 Marine XII 鉱区の Tango FLNG 船舶コミッションに言及、2024 年第 1 四半期に最初の LNG カーゴ引き渡しを見込むと説明した。Eni は、2 月 27 日、コンゴ共和国から最初の LNG 出荷を発表した。カーゴは積み込み中で、今後数日中にイタリア Piombino 気化基地向けに出航する。

モザンビークに関して、TotalEnergies は、2024 年 2 月 7 日、セキュリティ・人権問題に関する報告書を受領し、請負会社による作業を再開しつつある、と述べた。建設は 2024 年半ばまでに再開することを期待している。

### [欧州・周辺地域]

欧州委員会は、2024 年 2 月 28 日、EU エネルギープラットフォーム・ガス購入新規中期入札第 1 回が前日夜に締め切りとなり、97.4 bcm (974 億 m<sup>3</sup>) 分のオファーを集めたことを発表した。これに先立ち、AggregateEU メカニズムを通じて、19 社から 34 bcm 分のガス需要を集約していた。供給者・消費者は AggregateEU プラットフォームを通じてマッチされており、相対契約交渉に入ることができる。この中期入札手続きでは、買主は 2024 年 4 月から 2029 年 10 月まで、最長 5 年間、複数の 6 ヶ月単位で需要を提出することが認められた。

National Grid 社 Grain LNG は、2024 年 1 月 31 日、アルジェリア Sonatrach 社の Grain LNG 基地での長期貯蔵・払い出し容量を 2029 年 1 月から延長する 10 年契約を発表した。

英 Grain LNG、Venture Global LNG は、2024 年 2 月 5 日、Venture Global の CP2 LNG 含みルイジアナ州設備からの LNG 気化・販売を可能とする長期基地利用契約 (TUA) を発表した。Venture Global は、Isle of Grain LNG 受入基地で、2029 年から 16 年間、年間 300 万トンの貯蔵・気化容量にアクセスを持てることとなる。

Centrica Energy、Repsol は、2024 年 2 月 7 日、2025 年から 2027 年に、100 万トンの LNG 引き渡しの取引を発表した。カーゴは Grain LNG 輸入基地に引き渡される見通し。

bp は、2024 年 2 月 6 日、自社「LNG 供給ポートフォリオは、Coral、Freeport を中心に 23%増加して年間 2300 万トンとなった」さらに短期・中期のマーチャント数量で「1000



万トンを引き渡した」と述べた。bp によると、LNG 供給拡大に関して 2023 年 2300 万トン、2025 年は 2500 万トンが目標。

フランス GTT 社は、2024 年 2 月 26 日、自社が 2023 年 LNG 輸送船舶 73 隻、FLNG 生産設備 1 隻のタンク設計を受注したことを発表した。

ドイツ Deutsche ReGas 社は、2024 年 2 月 24 日、Mukran での "Deutsche Ostsee" 基地が試運転を開始したことを発表した。同日朝、FSRU ENERGOS POWER が同港に到着した。

New Fortress Energy (NFE) 社は、2024 年 2 月 15 日、Energos Infrastructure における自社の 20%出資分を、Apollo 傘下のファンドに売却完了したことを発表した。

ポーランド国営ガスパイプライン操業企業 GAZ-SYSTEM S.A、株式会社商船三井 (MOL) は、2024 年 2 月 2 日、GAZ-SYSTEM S.A. が MOL を、グダニスク湾 LNG 輸入基地計画向け新造 FSRU (浮体貯蔵・気化設備) 1 隻の定期備船契約に関する優先交渉相手先として選定したことを発表した。

JOGMEC は、2024 年 2 月 2 日、Japan Arctic LNG B.V. の天然ガスの開発・液化事業 (Arctic LNG 2 プロジェクト) について、2024 年 1 月 30 日に債務保証を履行したことを発表した。米国政府による本プロジェクト操業会社に対する経済制裁により、融資契約に定める強制期限前弁済の条項に該当するため。

## [南米]

Höegh LNG 社は、2024 年 2 月 28 日、Höegh Giant FSRU が、2024 年第 1 四半期末に向けて、ブラジル サントス州にてコミッショニングを開始する見込み、と述べた。

New Fortress Energy (NFE) 社は、2024 年 2 月 29 日、ブラジル パラ州 Barcarena LNG 基地が、Energos Celsius FSRU (浮体貯蔵・気化設備) 現場到着で稼働開始となったことを発表した。アマゾン河口に立地、パラ州・同国北部の唯一の天然ガス供給源となる。Norsk Hydro 社の世界最大のアルミナ精錬設備 Alunorte との 15 年契約を含むいくつかの工業用需要家に LNG 気化ガスを供給することとなる。基地隣接で建設中の NFE の 630 MW 発電設備に燃料を供給することともなる。

EIG 傘下 MidOcean Energy は、2024 年 2 月 8 日、SK Earthon との間で、後者の Peru LNG における 20%持ち分を買い取る契約を締結したことを発表した。PLNG はペルー Pampa Melchorita の LNG 輸出設備を所有・運転している。PLNG は Hunt Oil Company が操業している。MidOcean は豪州 LNG プロジェクトの東京ガス持ち分の買い取り過程にあり、そちらは 2 月末完了を目標としている。

参考資料: 各社発表, Cedigaz News Report.

お問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)